

◆陸上競技部

顧問 澤口 毅 先生
副顧問 小山 未絵 先生
部長 小玉 耕伸
山口 真由

私たち陸上競技部は男子22人、女子15人の計37人で活動しています。今年の新人戦では24人延べ35種目+リレー3チームが県大会に出場しました。また東海大会にも1人が出場できました。

活動は週5日で日曜日は休養日、木曜日は自主練習日です。トレーニングは全員で行うこともありますが、基本は短距離・中長距離・跳躍・投擲の4つのブロックに分かれて練習しています。先輩後輩関係なく仲が良かったため、明るい雰囲気でも活動できています。公式戦は高校総体、新人戦、選手権、高校駅伝があり、選手一人ひとりが自分の実力を確かめる場であり、上の舞台を目指して戦う場でもあります。夏や冬には合宿や合同練習会があります。練習の質や量を重視した、いつもよりハードな練習に取り組みます。また他校の選手と一緒に練習することで技術的にも体力的にも精神的にも成長することができます。厳しい練習をやりぬいた後には達成感を感じることができ、仲間との絆を深めることができます。

陸上競技は走る・跳ぶ・投げる種目で構成されており、自分の得意な種目を伸ばすことができます。部員は経験者もありますが、約半数は初心者です。中学校にはない種目があることも初心者が挑戦しやすい要因です。陸上競技に少しでも興味のある人は、ぜひ一度見学に来てください。

◆剣道部

顧問 櫻井亜希子 先生
副顧問 中村 みほ 先生
部長 岩田 琉生

みなさんこんにちは。剣道部です。私たちは、一年生三名を迎え、総勢六名と少人数ではありますが、県大会出場を目標として、日々の稽古に励んでいます。活動日は、基本週六日間、一日は休養日です。平日は一日二時間、休日は三時間程度活動しています。活動場所は体育館一階の剣道場。ときには他校の錬成会に行かせていただき、刺激をもらっています。

剣道部の活動内容としては実際の試合を意識したものが多く、基本から応用まで新しい練習がどんどん取り入れられ、バリエーションが豊富です。今は、基本を中心とし、互いに相手の成長を願って、気づいたことを教え合い、それぞれの課題克服を目指して頑張っています。初心者の方でも基本的な部分から学び、段も取得することもできます。今までも高校から剣道を始めて段を取得したり、県大会に出場した部員もたくさんおられます。初心者でも十分戦えます。学業との両立も問題ありません。剣道に興味がある人は、ぜひ見学に来てください。

実績（在籍部員に関して）

令和三年度新人戦 個人戦
杉本好英 県ベスト16
令和四年度新人戦 個人戦
岩田琉生 県大会出場

◆レスリング部

顧問 長谷川拓也 先生
副顧問 佐藤 梨沙 先生
部長 石田 修也

レスリング部は現在選手6名マネージャー2名の計8名で活動しています。活動日は平日の5日間と土曜日の半日練習で週6日です。水曜日、土曜日には、焼津水産高校、藤枝北高校と合同練習を行っています。また、焼津中央高校レスリング部は過去に何度も全国大会上位者を輩出し、オリンピック出場を果たしたOBもいます。

ここからは少し私の話をさせて頂きます。私は、高校でレスリングを始める前までは全くレスリングの経験がありませんでした。いざやってみると、それまでしたことのない体の使い方をするため、技を覚えるのが大変だったり、毎回の練習が大変で練習後には疲れ果ててしまい動けなくなってしまうこともよくありました。そんなきつい練習の為、時には練習を辞めたくなくなってしまいうこともありました。しかし、練習を続けているうちに少しずつ勝てるようになっていき、きつい練習が楽しいと思えるようになっていきました。そして今年の大会では、全国大会出場とはなりませんでしたが、予選を勝ち抜き、東海大会に出場することが出来ました。

レスリングは、軽い気持ちでは続けられないような大変な競技ではありますが、その分成果の出た時の喜びは大きく、最も熱くなれるスポーツだと思っています。少しでもレスリングに興味を持ってください、体育館一階の武道場に足を運んでください。初心者でも歓迎しています。一緒にレスリングをやりましょう。

◆弓道部

顧問 中山 研人 先生
副顧問 中村 花野 先生
部長 山村 彩椰

私たち弓道部は、二年男子十名、女子十一名、一年男子十六名、女子十名の計四十七名で活動しています。前は強かった、過去の中央はすごかった、と言われることも多々あります。そのため今は焼津中央高校弓道部の復活を目指し、今も強いと言ってもらえるように日々稽古に励んでいます。

今年度の高校総体では惜しくも県大会二位という結果となり、東海大会に出場したものの、あと一歩のところまで全国大会出場を逃してしまいました。個人では全国大会に出場する人もいます。このような結果をとることが出来たのは自分たちの努力だけではありません。焼津中央高校の弓道部は、県内有数の広さを誇ります。そのため部員が多くても十分に練習することができ、また全国大会出場経験のある顧問の先生がいるという、恵まれた環境があります。

その整った環境があることも強さの秘訣ですが、その環境があることを当たり前と思わず、常に感謝して部活に励んでいることが秘訣なのではないかと考えています。技術があるのはもちろん大切ですが、それだけでは強くなることは出来ません。弓道部では技術面に加えて、精神面や行動面から強いチームに近づこうとしています。周りの様々な事に気づく能力、自身の体調管理、そして何よりも親や周りの支えてくれる人々に感謝の気持ちを持つことを大事にしています。

弓道は精神面が最も影響するスポーツだと思えます。また高校から始める人がほとんどです。精神面も技術面も学ぶことができ、自分が代表選手になれる可能性を大いに秘めている弓道部に是非入ってみてください。弓道場で待っています。

◆男子バレーボール部

顧問 狩野 宏晃 先生
副顧問 小柳 明良 先生
部長 鈴木然太郎

僕たち男子バレーボール部は、文武両道をモットーとして、二年生五人、一年生七人、マネージャー一人の計十三人で活動しています。顧問の狩野先生と、小柳先生を中心に、県大会出場を目標に、日々の練習に励んでいます。他の学校のバレーボール部に比べて初心者が多いのですが、他の学校よりも基礎トレーニングや、走り込みを一生懸命やっている自信があります。また、僕たちは学年関係なくとも仲が良く、それが試合での良いコミュニケーションに活きて、良い雰囲気です。試合に望むことができず。平日の練習は女子と交代なので、休日に比べて少なめですが、その少ない時間の中で集中して練習に取り組み、県大会出場という目標達成に向けて、皆で支え合いながら頑張っています。

◆女子バレーボール部

顧問 関 篤志 先生
副顧問 松永 直也 先生
部長 白ヶ谷野花

私たち女子バレーボール部は一年生5人、二年生6人、マネージャー3人の計14人で活動しています。中には、中学生でバレーを始めたり、高校生になって初めてバレーボールに携わった人もいます。私たちの部活では「機敏な行動」、「挨拶」、「返事」を常に意識し、部活動を通して、一人の人間として成長できるように日々練習に励んでいます。練習試合や公式戦で他校に行くとき、礼儀や態度がしっかりしていれば、お互いに気持ちよく戦うことができます。先輩方から受け継がれてきたこの伝統を、他校の人々に中央の特徴として知ってもらえるよう、私たちも後輩へ受け継いでいきたいです。

焼津中央は進学校で、ほかのチームと比べ、練習時間が十分に取れません。しかし、一回一回の練習の中で、今の自分たちには何が必要なのか、新しく挑戦できることは何かを常に考え、共有してプレーしています。また、去年のチームより身長の高い選手が少なく、攻撃力は低いですが、その分拾うことの大切さを全員が理解して、「粘りのバレー」を目指しています。

先日行われた中部選手権では準優勝、春高予選では県ベスト8という成績を取ることができました。中央が「負けない試合」ができるようになった理由の一つは、私たちの合言葉である、「笑顔、声で勝負」が意識できるようになったことだと思います。学年関係なく、選手、マネージャー全員が良いチームを作り、次の試合でも満足のいく結果を残せるよう、努力を重ねていきたいと思っています。

バレー部は、平日・休日とも部活があるので部員と共に過ごす時間が多く、たくさんの思い出を作れています。最後に良いチームだったなあと思えるよう全力で走り抜けます！応援よろしくお願いします。

◆卓球部

顧問 松井 太朗 先生
副顧問 中上 純子 先生
部長 杉山 喜望

私たち卓球部は現在二年生十一名、一年生五名で活動しています。今年九月に行われた中部地区予選会団体の部では、男子は惜しくも県大会に出場することができませんでしたが、女子は出場することができました。個人の部では女子二名が県大会に出場しました。男子は個人、団体戦共に県大会出場、女

子は団体戦県大会ベスト十六以上を目標に、限られた時間の中でこれからも日々の練習に男女協力して、一生懸命取り組んでいきたいと思えます。私が感じる卓球部の凄みは、部員一人一人がそれぞれ自身の課題を持ち、それを解決していこうと積極的な努力を続けていることと、全員が部活動をつくり上げていこうという意志を持ち、練習内容を話し合って改善していくことができることです。意見が対立してしまうこともありますが、時に顧問の先生方の力も借りながら、部活動という一つのまとまりとしても、一人の人間としても成長できるのではないかなと思っています。また、休日の部活動では開始時刻の三十分前に準備が完了し、練習を始めていることもあり、時間を見て素早く行動できる部活でもあると思います。先程も述べたように、部活動の取り組み方で意見が対立してしまうこともあるので、少し大変ではありますが、一人一人が部活動について真剣に考えてくれていて証拠でもあるとは思っています。捉え方によってはこれもまた一つの長所になると前向きに考えています。私たちの卓球部があるのは今だけなので、全力で取り組みながらも楽しむこと、自分にできることをすること、顧問の先生方にも協力して頂きながら、感謝を忘れずにこれからも卓球部一同前進していきます。

◆水泳部

顧問 青島 弘明 先生
副顧問 鈴木 則央 先生
増田 道則 先生
部長 文随 楓

こんにちは水泳部です！

私たち水泳部は、1年生選手4人、2年生選手9人、マネージャー5人の計18人で活動しています。5月から9月までは学校のプール、シーズン以外は市民プールで練習しています。パドルやフィンなどを使う水中トレーニングに加え、外周や縄跳び、体幹などの陸上トレーニングも行っています。

水泳部の良さは、顧問も手に負えない自由さです。クラブチームに行き猛者達に揉まれながら東海・全国大会を目指すのもOK！学校で先輩後輩の壁を越えて楽しく泳ぐのもOK！そのため水泳部は毎年東海大会出場者を輩出しています。

初心者さんでもマネージャーさんでも大歓迎です！プールで待っています！

◆サッカー部

顧問 大塚 智紀 先生
副顧問 平井 誠也 先生
佐藤 幸弘 先生
部長 小池 魅空

サッカー部はプレイヤーが一年生二十一人、二年生二十人、マネージャー二人で構成されています。ミーティングで話し合い、「責任感」という言葉を意識して活動しています。焼津中央高校サッカー部は、先生方以外にも、MSマイスターからトレーナーが来て、フィジカル強化のトレーニングをしたり、キーパー専用のコーチが来てくれます。他にも、ハドルというアプリを使って部員全員で自分たちの試合の映像を共有しています。そのため試合の前に相手との前回の試合を振り返って対策を練ることもできます。そして何より毎日必ず各カテゴリーごとに先生、または外部コーチが来て下さり質の高い指導をしてくれます。このように、とても良い環境の中で日々活動に励んでいます。今年も、例年より多くの三年生が選手権まで残ってくれました。選手権はパンフレットが分厚く、準決勝からテレビで放送されるなど、とても注目される大会であり、一番の醍醐味と言える大会です。県ベスト八を目指し挑みましたが、四回戦で東海大翔洋に二対三で敗れ、悔しい結果となりました。また一年を通してリーグ戦が行われています。今年からカテゴリーが二つから三つになりました。それにより、去年よりも

多くの人が公式戦に出場できる機会が増えました。試合に出ることは自分たちの現状を知ることができ、一番楽しさを感じられる瞬間であるのでとても良い経験になります。それぞれのカテゴリーがそれぞれのリーグで最善を尽くすことができました。これから始まる新人戦、総体で良い結果を残せるように日々の練習を大切に、「責任感」をもって努力していきたいと思えます。

◆男子テニス部

顧問 石上 雅崇 先生
副顧問 加藤 直人 先生
部長 窪田 奏

男子テニス部は二年生十四人、一年生十一人の計二十五人で活動しています。日曜日の休みを除いて週に六日、夏は六時まで冬はボールが見えなくなるまで練習を行っています。テニスコートは女子テニス部と共有しているので曜日によって使える面数は異なります。一面のみで練習する際には、皆でアイデアを出しあい筋力トレーニングや外周など、各自で出来ることを一生懸命取り組んでいます。また、テニス部のモットーである「楽しむ」をもとに笑顔の絶えない部活動を実現しています。一年生と二年生の仲もよく、お互いに意識しながら高めあう存在となっています。

自慢できるような実績はありませんが、それ以上に実のある活動をしていると感じています。これからも練習を続け、各々の目標へと近づいていきたいと思えます。

◆女子テニス部

顧問 鈴木 聡子 先生
副顧問 山内みづほ 先生
田中 孝典 先生
部長 永田 莉菜

私たち女子テニス部は、一年生八人、二年生八人の計十六人で活動しています。活動日は月曜休みの週六日です。雨の日はコートが使えないため、休みになります。学年関係なく仲が良く、互いに切磋琢磨しながら高め合っています。個性豊かなメンバーで毎日楽しく活動を行っています。

平日は、ラリーとボレーの練習を中心に行っています。土日は、平日の練習に加え、試合形式を行い、今の自分の課題を見つけます。月に一度、コートに自分では気づけなかったところや、どんな練習をしたら良いかなど、細かく指導していただきます。

新人戦の団体戦では、目標としていた県大会に行くことができ、一回戦を突破することができました。ですが、二回戦目は相手が格上だったこともあり、残念ながら負けました。全体的に自分のミスで点を落としてしまうことが多く、ミスをせずにラリーを続けられることが重要だと思います。これからも努力してより上を目指して頑張りたいです。

◆野球部

顧問 久保 敦広 先生
副顧問 原田 貴弘 先生
宮本 祐希 先生
部長 山形 壮馬

私たち野球部は二年生九名、一年生九名、マネージャー二名の計二十名で活動しています。七月中旬から新チームとなりました。しかし、始まってすぐに新型コロナウイルスの部内感染にあってしまい、チーム全体の練習がままならなくなってしまうました。その状態で迎えた秋季中部地区予選初戦の静岡

商業高校との試合は、自分たちの野球をすることができず負けてしまいました。そこから自分たちの力を出し切れる野球は何かをチームで話し合い、練習を重ねてきました。その結果、十月に行われた市内大会では優勝することができました。しかし、自分たちが決めていた目標を達成することができず、まだ課題がたくさんあることがわかりました。これから夏を戦い抜く中で最も大切な冬のトレーニングに入ります。チームで今必要なのは筋肉量で、総筋力一人100kgは最低でも上げる目標をチームで立てました。一日一つでもできる事を増やし、個人として、そしてチームとしても一回りも二回りも大きくなれるよう全員で取り組んでいきます。

また、私たちは野球だけでなく学校生活でもあいさつや清掃など身の回りの事に配慮し、常に先の事を考え率先して行動できるような野球部を目指しています。私たちがこうして活動することができているのは先生方や保護者の方々、OB会の方々の支えがあるおかげです。他の人にも応援していただけるようにより一層練習に励み、夏の選手権県優勝を目指して努力していきます。

◆男子バスケットボール部

顧問 青木 隆政 先生

副顧問 鈴木 則央 先生

部長 山本 烈輝

僕たち男子バスケットボール部は二年生十二人、一年生九人、マネージャー二人の計二十三人で活動しています。目標は「県大会出場」です。近年では、インターハイ、新人戦ともに県大会に出場し続けています。日々の練習で大事にしていることは、「プレー中のコミュニケーション」や「練習の効率」です。特に「練習の強度」を一番に意識して練習に励んでいます。青木先生の「全力でやれる時間が三分でも五分でもいいから、その強度で練習をやり続けていこう」という指導のもと、僕たちは、ディフェンスのプレッシャーや走り続けることなど、練習よりも試合の方が楽と思えるように日々の練習に取り組んでいます。休日は、数多くの学校と練習試合をしています。中には、自分たちよりも高いレベルや同じくらいのレベルとやる事が多く、高い強度を経験することで、そのレベルを知って、それをチームに還元することでチーム全体の士気の向上、また目標とする強度の設定や再確認を行っています。高校だけでなく中学生と合同練習も行っています。その中で普段自分たちが取り組んでいることを中学生に教えることでその練習の意図がしっかり汲み取れているのかを確認できるので自分たちの成長への良い刺激となっています。ランメニューや筋トレなどきついメニューも多いですが、チーム内で声をかけ、励まし、鼓舞しあいながら乗り越えています。部員には個性のあふれる人がたくさんいます。永遠と喋り続けている人、奇行をする人などがいて、練習後には、部員で仲良く話していて笑顔や笑いが絶えません。これが、良い雰囲気で練習できることにも繋がっています。これからは、さらに高いレベルと戦えるように強度をあげて練習に励んでいきます。応援よろしく願います。

◆女子バスケットボール部

顧問 大竹 百葉 先生

副顧問 矢追 雄一 先生

部長 大石 璃音

私たち女子バスケットボール部は、1年生9人、2年生7人の計16人で活動しています。練習は週6日で、月曜日が火曜日が休みです。ここで部員を紹介します。

1年生は、ここぞという時にリバウンドをとってくれる彩心。いつもチームを支えてくれるマネージャーの珠友。どんな体勢でもシュートを決める日々希。素早いドライブから点を決めチームの流れをかえるところ。安定したシュート力で相手の心を折る柑奈。外も中もできるなんでも屋の楓夏。足の速さを生かしたドライブをする美結。チーム1のハンドリング力をもつ侑衣。低いチェンジングで相手を抜

き去るひかり。

2年生は、飛び込みリバウンドでチームの士気を高める里奈。どんなシュートも決め皆を驚かす千夏。確率の高いスリーポイント力を生かしたプレーが得意な彩那。チェンジングの幅を生かしたドライブをする千晶。粘り強いディフェンスでチームを支えてくれる美憂。誰にも負けないリバウンドで何度もチャンスをもぎとる副部長玲奈。そして部長の私。

私たちの目標は県大会出場です。そのために全員がバスケットと真剣に向き合い日々練習に励んでいます。決して簡単な目標ではありませんが先生たちを含め18人で頑張っていけます。

◆バドミントン部

顧問 大澤 健 先生

副顧問 伊藤 泰 先生

鈴木 美穂 先生

藤本 敏彦 先生

部長 中野 陽介

バドミントン部は、一・二年生男女合わせて四十人で活動しており、男女、先輩後輩の関係も良好です。

バドミントンは基本的には個人競技ですが、部員ひとりひとりのうまくなりたいという気持ちだが、部活動全体の良い雰囲気を作っています。バドミントンは細かい身体の使い方がとても重要で、意識を変えればグンと実力が上がるところが魅力のスポーツです。身体の使い方を理解し、正しい技術を身に付けることが上達につながります。自分たちの課題について先生方と話し合いながら練習に取り組むことの大切さを日々実感しています。

十月に行われた新人戦では、男子学校対抗で県大会ベスト8という結果を残すことができ、自信と次への目標を持つことができました。

近隣の小中学校を練習場所として借りていただき、多くの時間を私たちの成長のために使ってください。先生方への感謝を忘れず、今後の練習に励みたいと思います。

◆放送部

顧問 森田 晋 先生

副顧問 長田 育子 先生

部長 益田 結帆

私たち放送部は現在、一年生三人、二年生四人の計七人で活動しています。

毎週火・金曜日には「放送部ラジオ」を行い、曲を流しています。みなさんのリクエスト曲を流すこともあります。

普段の活動では、放送に欠かせない発声練習をし、よりよい放送ができるよう日々励んでいます。そして、年に二回行われる大会に出場しています。台詞や情景の描写などを表現することの難しさはありますが、納得がいく読み方ができると、とても達成感があります。

今年度のNHK杯という大会には五人が出場し、そのうち四人が県大会に出場しました。また秋の新人戦には二人が出場し、一人が入賞、もう一人が第三位という結果を残しました。

放送部は学校行事においても様々な活動をしています。例えば文化祭では、ステージ発表をするクラスや、換気・消毒のアナウンスをしたり、曲を選んで流したりしています。体育祭では、開会式・閉会式の司会進行やアナウンス、競技説明などを行っています。競技ごとに合う曲を選ぶことも楽しみのひとつです。

このように裏方で活動が多い放送部ですが、どれも重要な役目で、とてもやりがいがあります。話すことが好きな人、はきはきと話せるようになりたい人、朗読やアナウンスに挑戦してみたい人、

大歓迎です！少しでも興味があつたら、ぜひ放送部にお越しください。部員一同、みなさんの入部をお待ちしています。

◆吹奏楽部

顧問 東 友貴 先生
副顧問 山本かほり 先生
中村 花野 先生
石川 恵子 先生
部長 新屋敷侑伸

僕たち吹奏楽部は二年生三十一人、一年生三十五人の計六十六人で活動しています。活動のスローガンに「最響」を掲げ、人の心に響く演奏を目指して日々の練習に取り組んでいます。

普段の練習は、個人練習、パート練習、合奏を基本として、部員が中心となって進めています。朝の自主練に取り組む部員もいます。

今年度の全日本吹奏楽コンクールでは、中部地区大会金賞、県大会銀賞という成績で、東海大会出場を目標にしていた僕たちにとってはとても悔しい結果になりました。

僕たちの特徴といえば、主体性です。部活動の運営、練習の内容、スケジュール調整は先生の力を借りながら多くを部員が中心となって行っています。

大好きな音楽を続けることができるのは、顧問や副顧問の先生方の手助けや、教室やブレハブなどたくさんさんの練習場所がある今の環境のおかげです。もとより、音楽は聴いてくれる人がいて初めて成立するものです。たくさんの人に支えられて今があることを忘れず、これからも多くの人に愛される部活動であるために一生懸命活動していきます。

◆科学部

顧問 加藤 直人 先生
副顧問 矢追 雄一 先生
小川 哲 先生
部長 村田 涼

私達科学部は現在二年生五人、一年生十人の計十五人で活動をしています。活動は主に月曜日、水曜日、木曜日の週三日で活動時間は一時間半から二時間ほどです。活動内容は一月から五月は文化祭に向けての準備等で六月から十二月は研究をしています。研究は山崎賞という賞の受賞や、理科研究発表会を目指して行っています。今回は塩害についてとくもりについての研究を行いました。

科学部は基本的に学年の違いによる上下関係はありません。研究をグループでやるので先輩後輩関係なくできるだけ多くの意見を取り入れるためです。また、活動時間が短いので勉強と部活の両立がしやすいです。それに加えて、研究をしている時などに自分の知らなかった新しい知識をつけられる可能性もあるので部活の中でも学ぶことも少なからずあると思います。

科学部はイメージとして「理科科目が得意そう」というものを持たれることもありますが決して必ずしもそうである必要はありません。苦手だから入るのやめようという思考をとらないで下さい。理系でも文系でも、科学が得意でも苦手でも大歓迎です。

部内の雰囲気はとても良く、良い環境で楽しく活動ができています。科学部での活動が大学等が行っていることで力を発揮できることもあります。興味をもった人でも、そうでなくても、B棟一階西側の化学室で活動しているので是非来てください！

◆写真部

顧問 杉本 恭規 先生
副顧問 土屋 かな 先生
部長 羽山 芽衣

私たち写真部は、現在一年生十二名、二年生十名（女子十二名、男子十名）の計二十二名で活動しています。平日の主な活動は、毎週金曜日の放課後に行う講習会や校内での撮影です。講習会では、質の高い作品をつくるために、カメラの操作や撮影の技術を学んだり、作品を鑑賞したりしています。また、休日には校外での撮影会や県中部地区高校合同の写真教室に参加するなどして、写真の腕を磨いています。校外の撮影会は、グループ別になって年四回ほど行い、今年は県内十四カ所で撮影しました。撮影会では、写真を撮るだけでなく、部員同士の親睦を深める機会にもなっています。

このようにして撮影した写真は、コンクールに応募したり、文化祭などで展示したりしています。今年の県高校写真コンクールでは残念ながら全国大会進出はなりませんでしたが、昨年は二人、一昨年は一人の作品が全国大会に進出しました。また、今年行われた県中部高校写真連盟主催のコンクールでは、最優秀賞・優秀賞の上位入賞を本校がほぼ独占するなど、部全体として質が高い作品を多数出品しています。これも顧問の先生の指導力の高さと部員一人一人の撮影意欲の高さが相乗して、このような結果を生み出しているのだと思います。

部内の雰囲気はとも明るく、楽しく活動することができます。入部した部員の多くが初心者であるため、誰でもカメラの操作や撮影の技術を一から学ぶことができます。私たちと一緒に写真の腕を磨いて、コンクール入賞を目指したり、友達や家族を撮ってあげて喜んでもらったりしませんか。

金曜日の放課後には、ぜひ、B棟二階の地学室にお越しください。お待ちしております。

◆新聞部

顧問 小山 未絵 先生
副顧問 岡本 研 先生
部長 植田 侑愛

私たち新聞部は、三年生二名が引退し、現在は二年生一名、一年生二名の計三名で活動しています。主な活動は、年三回の「焼津中央新聞」と、年間を通して校内で「速報版」を発行することです。今年速報版の発行が少ないのですが、これまでに発行した新聞をB棟二階の廊下にも掲示してありますので、是非ご覧ください。

今年度は、秋に「静岡県高校新聞コンクール」に参加し「コラム賞」を受賞することができました。新聞の作成をするために、私たちは専用のソフトを使用するのですが、普段パソコン操作やワープロソフトの使用に不慣れなこともあり、記事を作成し打ち込むのにとても時間がかかります。「コラム賞」をいただいたことは、新聞作成初心者である私たち三人にとって、とても励みになりました。この経験を今後の新聞作りに生かしていきたいです。

新聞部では、取材や写真撮影なども行います。取材では、多くの先生方や他学年の方々と話す機会を持つことができます。今後も皆さんに取材などをさせていただくことがあります。ご協力をよろしくお願いたします。

私たちはこれからも、焼津中央高校の魅力を校内外の人々に伝えていくために、焼津中央高校の歴史を後世に伝える新聞を残していきます。皆さんも一緒に新聞を作りませんか？そして、新聞部の活動に興味を持っていただけると嬉しいです。

◆合唱部

顧問 白濱 久世 先生
副顧問 中村 みほ 先生

戸嶋 京子 先生
長嶋 博之 先生

部長 渡邊 春希

こんにちは、合唱部です。私達は現在、一年生八名、二年生七名の計十五名で活動しています。私たち合唱部は、全国的にも珍しいオペラ公演を行っています。このオペラ公演の歴史は長く、今年度には第四十八回の公演となる、歌劇「魔笛」を上演させていただきました。観に来てくださった皆様、本当にありがとうございます。そして現在は、第四十九回の公演となる、歌劇「仮面舞踏会」の上演に向けて、日々練習しています。

オペラにおいて大切なのはやはり、歌と演技です。まず歌についてですが、オペラでは一人で歌う場面や、複数人で歌う重唱、多人数で歌う合唱など、様々な人数で歌うことになります。そのため個々の力も大切ですが、それ以上に周りの人と合わせて歌う力がとても大事になってきます。また演技においても、自分の感情を表現するだけでなく、他の人との関係性を表現することも大事です。歌も演技も、一人で成長することはとても難しいです。そのため、私たちはお互いにアドバイスし合い、全員が成長していける環境を作っています。

私たちは音楽だけでなく、舞台の全てを自分達で作っています。演者が着る衣裳、舞台上で使う小道具、世界感をつくり出す大道具や演者を照らす照明に至るまで、部員が各分野のプロの先生方の力を借りて作り上げています。初めは全員初心者ですが、先生方に教えていただきながら、より良いものを作れるようにがんばっています。また、演技についてもプロの演出家の先生に御協力いただいています。

合唱部での仲間と協力して一つの舞台を作る経験は、大きな財産になります。一緒に最高の舞台を作りたい。待っています。

◆美術部

顧問 中村 みほ 先生

副顧問 原 美鈴 先生

部長 藁品明日香

美術部は現在二年生十二人、一年生十四人の計二十六人で活動しています。活動日は基本月曜日と水曜日ですが、活動日以外の日も自主的に部活動に参加している部員もいます。

主な活動内容は、中央祭や中部展で展示する絵の制作です。今年度の中央祭では、「夜」というテーマを設定し、それにそった作品を展示しました。それに加えて、一年生はハンカチ染め、二年生はステンドグラスを制作しました。中部展では、B1サイズのキャンパスの水張り作業をし、その後絵を描き始めます。水張りは画用紙をキャンパスに貼る作業であり、これを行うことで紙の歪みを防ぐことができます。作品を描いている間は自分と向き合い、納得がいくまで試行錯誤を続けます。講師の山口先生から指導をいただき、よりよい作品に仕上げていきます。今年度の中部展では、入選十三名、特選四名という結果でした。特選四名の作品は県展に出品され、優秀賞に一作品、優良賞に一作品入選することができます。優秀賞をいただいた作品は、来年度の全国高等学校総合文化祭に出品されます。

今年度は、全体的に作品のレベルが高く、互いに刺激を受けながら作品を制作することができたように感じます。今後も、良い作品を作れるよう励んでいきたいと思えます。

◆茶道部

顧問 長田 育子 先生
副顧問 松永 直也 先生
部長 村田 遙

私たち茶道部は、二年生五人、一年生六人で、毎週金曜日に豊友館二階で活動しています。講師の北川先生に、作法を教わっています。部員同士でお抹茶を点て、季節の和菓子をいただきます。

茶道部の一大イベントは、文化祭です。文化祭では、三年生が浴衣を着て、お客さんにお点前を披露します。そこでお出しする和菓子は、三年生がデザインします。文化祭の二日間はとても忙しいですが、部員全員で協力して作り上げるので、達成感を得ることができます。文化祭の時のみ、茶道部以外の方にお点前を見ていただくことができますので、文化祭に向けて日々練習しています。

普段の部活の様子は、友達と話しながら、楽しく茶道を学んでいます。道具の名前や、お抹茶を点てる手順が多くて、最初は大変だと思いますが、自分で美味しいお抹茶を点てることができると、とても嬉しいです。

また、毎回いただく和菓子は、様々な種類があります。練り切りやまんじゅう、ようかん、柏餅などです。特に練り切りは部員のお気に入りです。季節の花やフルーツを型どったものが多く、毎回の楽しみになっています。

その他にも、作法を学ぶことで、日本の礼儀も身につけることができますので、将来の役に立つと思います。

日本の伝統文化に、楽しみながら触れることができる部活です。週に一回の活動なので、勉強との両立や、他の部活動との兼部、自分の趣味に時間をかけることもできます。少しでも興味を持った方や、お抹茶や和菓子が好きな方は、見学だけでもぜひ来てみてください。

◆華道部

顧問 石川 恵子 先生
副顧問 原 美鈴 先生
部長 杉山莉矩穂

こんにちは、華道部です。毎週木曜日に、豊友館2階で活動しています。講師の山本先生に教えていただきながら、花を生けています。なかなか「華道」に触れたことのある人は少ないと思います。また、「華道」と聞くと、硬い印象を持つ人もいますが、そんなことはありません！

僕たちは、小原流という流派を習います。「かたち」と呼ばれる花の配置のルールを守りながら花を生けて、それぞれの個性を表現していきます。決まりはありますが、それ以外は自由です。花の高さを変えて立体感を出したり、花の配置を考えて花に動きをつけたりなどたくさん工夫できるところがあるので、とても面白いです。

また、華道部にはA.L.Tのエミリー先生も参加してくださっています。英語で話すのは緊張しますが、お互いの作品を褒めあったり、わからないところは聞き合ったり、言葉の壁を超えて楽しめるのも華道の魅力の一つです。

華道にはまだまだ多くの伝えきれない魅力があります。ぜひ華道部に来て、華道の魅力を体験してみてください！

◆書道部

顧問 山内みづほ 先生
副顧問 鈴木 美穂 先生
部長 中村 萌風

私たち書道部は、二年生六人、一年生九人の計十五人で、毎週木曜日と金曜日に豊友館三階で活動しています。講師の原田先生の丁寧なご指導のもと、一人一人がよりよい作品にするために真剣に取り組んでいます。

みなさんは「書道」と聞いて、どのようなことを思い浮かべますか。難しそう、経験がないとできないと思っっている方が多いのではないのでしょうか。しかし、私たちの部活にみなさんがイメージするような堅苦しさはありません。経験の有無に関係なく、自分の作品に向きあいながらも仲間と楽しく、和気あいあいとした雰囲気の中活動しています。

中央祭では、作品の展示と書道パフォーマンスを行いました。一年生は「一文字書き」、二年生は「残響散歌」という曲に合わせて歌詞を書き、三年生は部活の集大成として「あの夢をなぞって」という曲に合わせて一人一文字大きく書きました。字の配列や書き始めるタイミングなど、みんなで何度も話し合い全員が主体的に考え、練習を重ねました。一から創り上げるため、分らないことや大変なこともたくさんありましたが、本番では保護者、生徒のみなさんや先生方の前で堂々とパフォーマンスを披露することができました。

日頃の部活動では、今まで習ってきた習字、書道とは違う柔らかい字体から力強い字体まで、さまざまな字を書いています。机に向かって書くだけでなく、ある時には広い場所で紙の上に立って書き、全身で表現することもあります。好きな字を好きなように書くことで、個性豊かな作品が完成します。みんな楽しんで、切磋琢磨しながら取り組んでいます。少しでも興味のある方は、私たちと一緒に活動してみませんか。

◆家庭部

顧問 山本かほり 先生
副顧問 中上 純子 先生
部長 望月 真凛

私たち家庭部は「2年生」「1年生」10人の計27人で週に1回活動しています。自分たちでメニューを決めて調理をしています。秋には旬のさつまいもやカボチャを使ってスイーツを作ったり、クリスマスにはリース型で作って見た目をアレンジしてみたりして、料理の楽しさを感じられます。

家庭部には他の部活のような大会はありませんが、年に1度給食コンテストや使いきりレシピコンテスト、シーフード料理コンテストなどがあります。今年はその中の2つに挑戦しました。栄養バランスや彩りだけではなくSDGsに考慮してオリジナルレシピを発案しなければならないので難しかったです。家ではなかなか挑戦できないことなのでとてもやりがいを感じられました。

コロナ禍ではありますが今年の文化祭では食品販売を行うことができました。部員全員で協力し合い1日に1班で100個近くクッキーやマフィンを作りました。試作の時はベーキングパウダーを入れ忘れたり、きれいな焼き目にならなかつたりしてハプニングが多かつたけど、それがあったからこそ成功につながったのだと思います。当日は販売開始前から多くの人が並んでいて5分もたたないうちに完売しました。並んでくれたのに購入できなかった人が多くいたので来年食品販売を行う際には反省を活かして、来てくれた全員により良いものを提供できるようにしたいです。来年の文化祭ではもっと色々な種類を作ることに挑戦したいです。勉強が忙しいですが週に1回みんなで楽しく料理ができるこの時間は癒しとなっています。

◆将棋部

顧問 増田 道則 先生
部長 望月 亮佑

現在、将棋部は二年生が一人、一年生が六人。週に二回、B棟二階にて活動を行っています。私は唯一の二年生として部長の座を先代から譲り受けました。なにせ自分には過ぎた器ですから、やることなすこと四苦八苦の八方塞がりです。他の部員と日々力を合わせて精進しています。

将棋と聞くと重苦しい雰囲気を想像してしまいがちですが、活動中は会話が絶えず、駒が盤を叩く音よりも声の方がよく通るなんてこともあります。

普段は部員同士で競い合っています。大会の形式に沿って練習を行ったり、部員の一人が戦法を思い悩んでいるのなら部長・副部長が協力して解決へと導いたりしています。部員の総人数が奇数であるため常に一人余ってしまうのですが詰将棋や将棋の参考書など手持無沙汰になることはなく、休憩時間を有効に活用している部員も多いです。

文化祭では来ていただいた生徒やお客さんが自由に対局を組めるように部室をセッティングし、部員と勝負をすることで勝つと景品がもらえるというミニゲームを行い結構盛り上がりました。

そんな部活から先日、県大会に出場する部員が二名ほど出ました。また団体戦でも大会で良い結果を出すなど今年の一年は歩みが速く喜ばしい限りです。

まだ将棋部の面々は未熟です。一手を読み違えたり、王手を見逃したり、一番強い部員でもそのミスを狙います。その改善には場数を踏むこと、そしてより勤勉であることが大切だと思っています。これからも将棋部はより頑張っていくので、もしよろしければ部室を覗きにきてください。

◆ボランティア同好会

顧問 鈴木 聡子 先生
部長 小野由利菜

私たちボランティア同好会は、二年生四人、一年生三人で活動しています。

ボランティア同好会では、ヒバリヤでの赤い羽根共同募金活動、サマーショートボランティア、紙芝居の制作・読み聞かせ、マップの挿絵、ターントクルこども館でのボランティアなどを行っています。

紙芝居のボランティアでは、焼津にまつわるお話の絵を描きました。また、物語を部員で英語に訳し、姉妹都市のホバートに送るため録音を行いました。

焼津市内で行われたレクリエーションボランティアでは、他校の学生と共に構成や子供たちに向けたクイズなどを考え、進行、実行しました。また、小泉八雲についての紙芝居を日本語と英語で読み聞かせをしました。

このような日々の活動の努力が実り、昨年はボランティア・アワードの全国大会に出場しました。

ボランティアを通して地域の方々や子供たちとの交流を持つことができ、様々な経験をすることができています。日々の学校生活だけでは体験できない気持ちや達成感をこのボランティア同好会で感じることができると思います。ボランティアの活動を通して地域に貢献することができ、やりがいがあります。

ボランティアはあまり身近にないイメージがあるかもしれませんが、新しいことに挑戦するとても良い機会になると思います。兼部も可能なため、少しでも気になった方はボランティアを始めてみませんか？新しい自分に出会えるきっかけとなるかもしれません。

◆クイズ研究同好会

顧問 石上 雅崇 先生

副顧問 宮本 祐希 先生

部長 萩原 快成

クイズ研究同好会は現在、毎週木曜日、十七時までパソコン室で活動しています。活動内容としては、「高校生クイズ」の本戦出場を目指し、日々知識を蓄えています。

昨今はテレビ番組やYouTube等でもクイズを多く扱われるようになり、身近なものになってきています。そのため、クイズは親しみやすいものですので、初心者の方でも大歓迎です。部員は私を含めた全員が、初心者です。

この文を読んで少しでも興味がわいたその貴方、パソコン室にお越しになるのも一つの手です。兼部も出来ます。